



保育・幼児教育現場の皆さんはすでに
「やさしい日本語」を使っている!?

「やさしい日本語」は、目の前の相手とわかりあいたいという気持ちで
相手に合わせて言葉や表現を工夫して言い換えていくものです。

皆さんは毎日、幼い子どもに伝えるように工夫し

保護者とは子どもを共に育てる意識をもって、

わかりあおうとなさっていると思います。

すでに実践されている「やさしい日本語」的な対応に加えて

日本語学習中の外国人にも伝わる「やさしい日本語」の

コツを知り、活用してみませんか?



「やさしい日本語」を広める会



Mail: hiromeru.yasanichi@gmail.com

Webサイト: <https://tsukuru-kyoto.net/bank/387-2/>

2022年6月 第2刷発行 デザイン: Masaki Tsuchiya
令和4年度 上京区民まちづくり活動支援対象事業

使ってみませんか?

外国人にわかりやすい

やさしい

日本語

— 保育・幼児教育施設編 —



制作: 「やさしい日本語」を広める会

保育・幼児教育の現場で日々、園児や保護者の皆さんと心を通わせようと努めておられる
皆さんが、「やさしい日本語」を活用することで、外国につながる園児や保護者と接しやす
くなり、気持ちが楽になることを願って、このリーフレットを作りました。

今まで、保育・幼児教育の現場で
外国人と接した経験がある方は
どのようにコミュニケーションをとってこられましたか？

日本語が十分通じたので、あまり問題なくできた？

それは素晴らしいです！

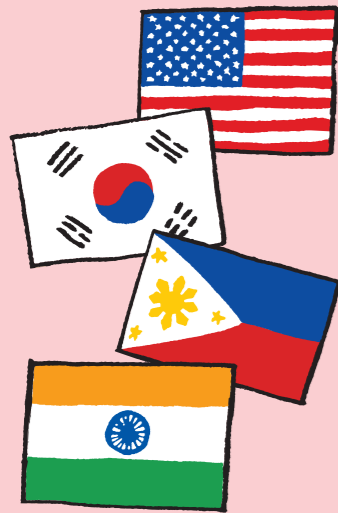
でも、外国の方は経験してきた文化・習慣が違うので、日本人と同じような理解をしていなかったり、不安に思ったりしているかもしれません。たとえば、初めて「運動会」と聞いて、「一日中外で行われて保護者が見に行けるし、参加できる場合もあるイベント」だとはわからないかもしれません。

また「〇日は園外活動」という趣旨のお知らせをもらっていたけれど、その日は休みの日だと勘違いして子どもを休ませてしまった、という例を聞いたことがあります。

Undoukai...



英語でコミュニケーションができたので、なんとかなった？



共通言語として英語が使えて、対応できることもとても大切なことです。保護者によっては英語しか通じないという場合もあるでしょう。でも、日本で暮らす外国人は増えつつあり(京都市内で30人に1人)その半分以上の人は日本語がわかります。英語より日本語を話す在留外国人の方が多数派です。その人たちにとっては、これまで以上に日本語ができるようになるのは大切なことです。より多くの人とコミュニケーションがとりやすくなるし、情報も得やすくなるからです。

日本人にとっても、「やさしい日本語」は、英語や他の多くの言語を学ぶよりも取り組みやすく

多くの人とのコミュニケーションが広がるツールと言えます。

使ってみよう！

やさしい日本語

今日からすぐに始められるポイントをお伝えします

心がまえ編

話しやすい雰囲気を作る

これから日本人と話そうとしている外国人保護者は、きっと緊張しています。日本人が笑顔でゆっくり話を聞こうとすることで、まだあまり日本語が話せない人も安心するでしょう。

日本の「あたりまえ」≠ほかの国の「あたりまえ」

異なる制度や文化背景のもとで育った人の「あたりまえ」は、わたしたちの「あたりまえ」とは異なります。かなり日本語がわかる人でも、常識への理解が異なっているかもしれません。保護者の方と、お互いわからないことを聞き合しましょう。

伝える前に情報を整理

情報をあれこれ一度に伝えると、混乱してしまうかもしれません。まず、伝えたいことを明確にして、それだけを簡潔に伝えるとわかりやすくなります。

話し言葉編

「はさみ+ゆの法則」で聞き取りやすく話す

はっきり、さいごまで言う。みじかく話す。ゆっくりと話す。が大切なポイントです。

はっきり、さいごまで言い切る。あいまいな表現をしない。



今日は仕事があるので… →今日は仕事があるので、^{きょう}行けません。^{しごと}
明日は？ →明日 ^{あした}いっしょに ^い行くことができますか？

1つの情報を1文でみじかく伝える。




御所は広くて、中に公園もあって、春は桜が咲いてとてもきれいです。
→御所は ^{ごしょ}広いです。公園 ^{こうえん}があります。春は ^{はる}桜 ^{さくら}が ^さ咲きます。とてもきれいです。

ゆっくり言う。

発音をはっきり、ゆっくり話すとかなりわかりやすくなります。特に混同しやすい言葉は紙に書くのもおすすめです。
<混同しやすい言葉の例> ますだ/まつだ いちじ/しちじ おじさん/おじいさん びょういん/びょういん


敬語を使わない・「～です」「～ます」で話す

かなり日本語が話せる人でも、敬語はわかりにくいです。
接頭語の「お」「ご」はつけずに、「～です」「～ます」「～てください」を使えば十分丁寧でわかりやすくなります。


たとえば  お子さんがお熱があるときは、登園はご遠慮くださるようお願いします。
→もし子どもさんが熱があります。そのとき〇〇園に来ないでください。
家で寝てください。休んでください。

言い換えをする

オノマトペ(擬音語、擬態語)は使わない。
日本人はオノマトペに慣れていて、特に子どもと話すときよく使います。
しかし、オノマトペを使わない国は多く、外国人には難しいです。


たとえば  すくすく育つ。 →元気に育つ。
ワクワクします。 →とても楽しみです。

難しい単語、熟語ではなくやさしい漢字、ことばを使う。

たとえば  帰宅後 手洗いをしましょう。 →家に帰った後、手をあらいましょう。
登園前に →〇〇園に来る前に

方言を使わない。

親しみはありますが、日本語に慣れるまで方言は難しいです。

たとえば  今日あんまり食べはりませんでした。
→今日は、あまり食べませんでした。

カタカナ語は気をつけて使う

ベビーカー、タオルケット、パソコンなどの和製英語は通じないことがあります。
実物や写真、イラストがあるとわかりやすいです。

話す相手の日本語レベルによってより自然な日本語にしていってください。

書き言葉編

書くことを大事なポイントだけにしぼる

なくても問題ない情報は省きましょう。外国人は、日本語の文を読むだけで時間がかかって疲れます。
どの部分が大切か判断するのも難しく、混乱しがちです。

漢字にふりがなをつける

ふりがながつけられる便利なサイトもあります(次のページで紹介しています)。
読み方がわかると意味を調べることができ、読むことがずっと楽になります。
ふりがなは、ひらがなの方がわかりやすいです。

写真やイラストを入れてわかりやすく


写真やイラストには、不要な情報を含まないことが大切です。



話し言葉編のコツも取り入れて

「1つの情報を1文でみじかく伝える」「あいまいな表現はしない」「敬語を使わない」「接頭語の『お』『ご』をつけない」「～です、～ますを使う」「やさしい漢字・ことばを使う」を心がけてみましょう。

「やさしい日本語」を使ったお知らせは、外国人保護者が「少しがんばったら読めるもの」です。
自分で読める経験を積み重ねることで日本語力が向上し、コミュニケーションがとりやすくなります。

たとえば  **おゆうぎ会の注意事項**
ご来場の際は公共の交通機関をご利用ください。
駐輪場のご利用はご遠慮ください。
↓
おゆうぎ会で気をつけること
おゆうぎ会 = 子どもが、歌ったりダンスや劇をする会
電車かバスか歩いて来てください。
保育園に自転車を止めることはできません。



これは便利!

お役立ちサイト

無料で使えるツールをぜひ活用してみてください



各国語で作られたガイドがダウンロードできます!

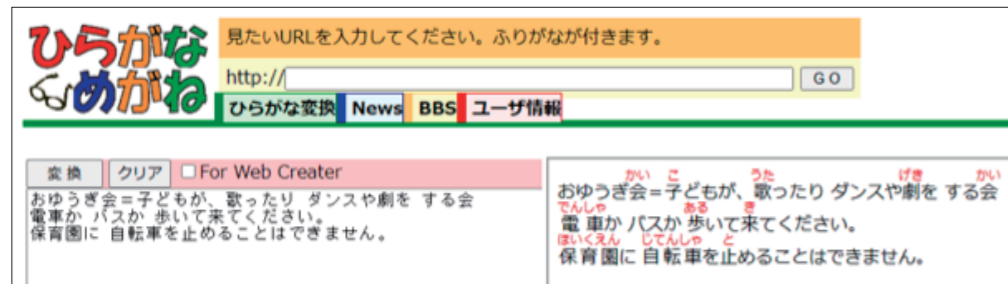


外国人住民のための子育て支援サイト(かながわ国際交流財団)

<http://www.kifjp.org/child/supporters/>

外国人保護者に「やさしい日本語」が通じる場合でも、健康上の問題など、特に正確に詳しい情報を共有しなければならないときは、多言語情報や通訳者が必要となってきます。このサイトには外国人住民の子育て支援に役立つ多言語の情報が満載。中でも以下のものは保育施設向けの便利なツールです。

- ▶ 外国につながる親子のための入園のしおり～保育園での生活や持ちものについて～
: 「入園のしおり」「保育園で薬を預かるときの注意事項」などのテンプレートがダウンロードできます。
- ▶ 就学前児童施設のための指さしコミュニケーションシート(PDF)
: 外国語を話す児童や保護者と、教職員・保育士等とのコミュニケーションを円滑にします。



自動でふりがなをつけてくれる便利なサイト



ひらひらのひらがなめがね

<http://www.hiragana.jp/>

漢字にふりがなをつけるのは手間がかかりますが、このサイトに会員登録をすれば、入力した文章に一括してふりがなをつけるサービスが利用できます。できた文章は、コピーしてWordファイルなどにそのまま貼り付けることができます。

話すだけで自動翻訳ができます



VoiceTra ボイストラ

話しかけると外国語に翻訳してくれる無料翻訳アプリです。音声入力の場合には一文を短くシンプルに「やさしい日本語」で話すことで誤訳を防げます(文字入力も可能)。翻訳したものを再度「翻訳の意味はこれです」と日本語にする機能もついていて、翻訳結果が正しいかどうかを確認するのに便利です。



「やさしい日本語」をより詳しく知りたい方におすすめ



「分かりやすく伝える」ための手引き(京都市)

<https://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000235459.html>

誰に対しても、情報をわかりやすくするための「やさしい日本語」のガイドブック。行政は、すべての人に必要とする情報が届く社会を目指し、「やさしい日本語」の利用を推進しています。

※アドレス・QRの京都市のサイトからダウンロードできます。



ワークショップなどで「やさしい日本語」を学べます



「やさしい日本語」を広める会

<https://tsukuru-kyoto.net/bank/387-2/>

「やさしい日本語」を広める会は、「やさしい日本語」を学びすぐにも使っていたけよう、ワークショップなどを提供しています。また、よりよいワークショップにつなげようと、日本在住外国人や、外国人と接する職場の日本人の話をお聞きする活動もしています。

◀ 京都市の市政参加ポータルサイト「まちづくり・お宝バンク」で紹介いただいています。

